



Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて！～ なにわ桔梗学術講演会

第111回薬剤師国家試験の日程が来年2月21日、22日、合格発表が3月25日であることを出題委員が発表しました。いよいよ来年の国家試験が本格的に動き出しました。

さて先日、神戸薬科大学の大阪生涯研修に参加しました。そこで、大谷典子先生（堺市立総合医療センター薬剤部）の講演「症例から抗菌薬の適正使用について考えよう」と、松田直之先生（名古屋大学医学系研究科 救急・集中治療医学分野 教授）の講演「敗血症の病態と治療」を拝聴しました。大谷先生の講演は、国家試験的にも症例問題が増えているため、国試でも現場でも大切なことであると思いながら勉強させていただきました。

松田先生の講演では、敗血症はアルピニストの野口健さんが罹ったり、タレントの渡辺徹さんが亡くなったことにより、広く知られるようになった疾患であること、9月13日が「世界敗血症デー」であることを知りました。敗血症は臓器不全となり、死亡率が上昇する状態です。敗血症を予測するスコアシステムは意識変容と呼吸数の増加（1分22回以上）と収縮期血圧が100mmHgとのことでした。

また、熱中症によって足をつる人が増えてきていることも知りました。ちょうどメディセレメンバーから「毎日のように足がつるようになったんです」と聞いたところだったので、これだなと思いました。厳しい残暑が続く現在、皆さんも気を付けていきましょうね。